

平成 28 年 12 月 15 日

「(仮称)大牟田市総合体育館建設のあり方についての市民意見募集」
～市民の皆さんのご意見をお聞かせください～

大牟田市民体育館は、昭和 49 年に開設され、市民のスポーツ活動や健康増進の拠点施設として 40 年を超える年月にわたって利用されてきましたが、建物の老朽化やバリアフリー対策、耐震化の遅れなどが課題となっています。

このため、「総合計画 2006～2015 後期基本計画 第 2 期実施計画」に基づき、「大牟田市総合体育館建設に係る基礎調査」を平成 26 年度に実施し、建設場所や規模等について報告書を取りまとめたところです。

今後、総合体育館建設を進めるにあたっては、多額の建設費を要することから、施設の規模や機能をどのようにするかなど、様々な意見があるなかで、本市を取り巻く状況、特に財政状況や、公共施設維持管理計画における公共施設総量の 20% 縮減などに対応した施設整備を図る必要があります。

このような中、9 月から 11 月にかけて 4 回実施しました「(仮称)大牟田市総合体育館建設に向けたワークショップ」の中では、「体育館がある他の類似施設等（サンアビリティーズおおむた、リフレスおおむた）との統廃合やその他の公共施設（延命庁舎）との統廃合」といった意見も出ているところです。

このため、総合体育館の建設を推進していく上では、市民の皆さんの合意形成が重要な課題であることから、市の現状を示した上で、広く市民の皆さんの意見を聴き、総合体育館建設における市としての方向性を決定していく必要があります。

つきましては、市民の皆さんより、様々な視点から幅広く新総合体育館建設についての意見をお聞かせください。

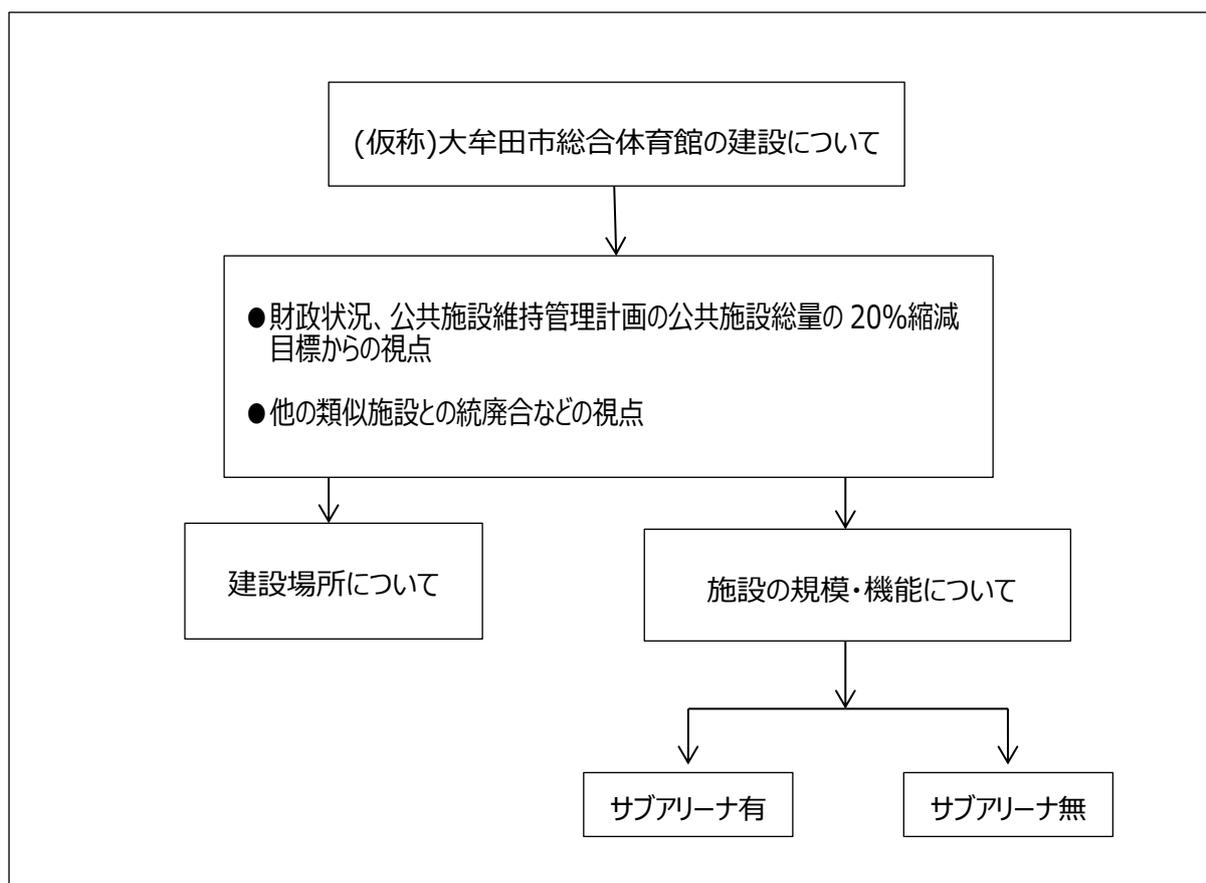
記

- 意見募集期間 平成 28 年 12 月 15 日（木）～平成 29 年 1 月 16 日（月）
- 募集方法 及び閲覧場所 大牟田市情報公開センター、生涯学習支援センター、えるる、各地区公民館にて資料が閲覧できます。また、大牟田市ホームページにも掲載します。
ご意見を記載のうえ、電子メール、ファクス、郵送または直接スポーツ推進室までご持参ください。
- 提出先 及び問合せ先 大牟田市 市民協働部 スポーツ推進室
住所 : 〒836-0872
大牟田市黄金町 1 丁目 34 番地
大牟田市生涯学習支援センター内
電話 : 0944-53-1503 FAX : 0944-41-2210
E-mail : sports01@city.omuta.lg.jp

【添付資料】

- ★ (仮称) 大牟田市総合体育館建設に係る基礎調査報告書（概要版）
- ★ (仮称) 大牟田市総合体育館建設に係る交通量調査及び解析業務報告 総合評価表
- ★ (仮称) 大牟田市総合体育館建設に係るワークショップ実施報告書、ワークショップ資料

■ 参考フロー図



■ 現在の体育館の状況と新体育館の規模等について

区分	現体育館 (市民体育館、第二市民体育館)	新体育館 (基礎調査報告書より抜粋)	
		サブアリーナ有 (9,000～10,000 m ² 程度)	サブアリーナ無 (7,000～8,000 m ² 程度)
面積・建設費等	面積 約 8,500 m ² [市民体育館 : 6,337 m ² 第二市民体育館 : 2,194 m ²] 耐震工事費等が必要	面積 約 10,000 m ² 試算額 約 4.3 億円※	面積 約 7,200 m ² 試算額 約 3.4 億円※
備考	指定避難所でありながら、耐震化がなされてなく、空調設備もない。また、バリアフリーになっていないため、障がい者スポーツ等での利用が難しい。 今後存続するためには、耐震診断、耐震工事等の実施に伴う費用が必要となり、また、将来的に経年劣化による補修工事も発生する。	(メリット) プロスポーツを含めた大きな大会を開催が可能で、また、スポーツに限らず、多様なイベントにも対応することができる。 (デメリット) サブアリーナを備えることにより、建築面積及び建築費が増える。	(メリット) 建築面積及び建築費を縮小可能。 (デメリット) 必要最低限の機能しか備えることができず、大きな大会や多様なイベントに対応することが難しい。
		規模や機能に応じて、維持管理経費が増加するため、ランニングコストの抑制等を十分考慮する必要がある。	

※試算額は、基礎調査報告書における諏訪公園に建設した場合の概算工事費を記載

※財政状況、公共施設維持管理計画の関係からは、他の類似施設との統廃合を考慮する必要あり

(仮称) 大牟田市総合体育館建設のあり方についての市民意見募集

今後の(仮称)大牟田市総合体育館建設の方針決定にあたり参考とするため、日頃から市民体育館を利用されている市民の皆さんはもとより、利用されていない市民の皆さんから、(仮称)大牟田市総合体育館建設のあり方について、様々な視点からの幅広いご意見を募集します。

つきましては、下記の意見募集の視点(参考例示)を参考にされて、皆さんのご意見をお聞かせください。

市民の皆さんからの意見募集の視点(参考例示)

≪視点1≫

本市の厳しい財政状況及び公共施設維持管理計画に掲げる本市が保有する公共施設総量の20%削減を考慮した中での体育館建設のあり方についての意見

【現状を考慮した中での視点(参考例示)】

(1) 適切な施設規模について

〔全体的な規模(現体育館と比較した場合の規模の大小)、メインアリーナの規模、サブアリーナの必要性の是非・規模など〕

(2) 必要な機能及びその機能の優先順位について

〔最低限必要な機能及び優先順位について〕

(3) 体育館を付設した他の類似施設や他の公共施設との複合化・多機能化について

〔ワークショップで出た意見：サンアビリティーズおおむた(体育館有)、リフレスおおむた(体育館有)、その他の公共施設(延命庁舎)との統廃合の必要性〕

(4) 上記以外について

≪視点2≫

新体育館を建設した後における体育館の利活用の方策(健康増進、コミュニティ、文化行事、避難所など、どのように使っていくかなど)についての意見

≪視点3≫

新体育館を建設した後におけるランニングコスト(維持管理の視点、管理運営の視点)についての意見

≪視点4≫

新体育館を建設する場合の最適な建設候補地(全市的な観点からの自由意見)についての意見

≪視点5≫

新体育館を建設するに当たって、特に配慮を要する事項やポイントなどその他の意見